

## 初到日本

2016.09.08

今天是在樱花之国—日本研修的第三天，这是一个全新的国度，新的空气，新的风景，新的朋友。不安和兴奋交织在一起，太多的陌生事物等待着我去接触和了解。今后一定会遇到很多困难，但前进的脚步不会停止，我会用最饱满的热情去迎接这个崭新的世界，加油！

刚才有人说我太正经了

2016.09.08

hala Madrid ! リアル マドリード 最高 !! 233333

これは日本語で投稿されたものです

### インターネット使えた、やっと

2016.09.26

昨日、やっとインターネットを繋がたんだ、良かった。自分で買ったbiglobeだけど、ちょっと高いね。中国のパソコンなので工事員中国語を読めなくて、2回違う人繋ぐに来た。何しろインターネット使えた。

これは日本語で投稿されたものです

## 江別市市長さん

2016.09.30

今日ぎよくしんと一緒に江別市市民会館に行って、市長さんに会った、色々な話をしたんだ、めちゃ多いプレゼントをもらった。江別市のキャラクターはレンガみたいな鶏だ、



頭は方形で面白いね。また、江別のTシャツをもらったんだ、本当にかっこいいぞ。

これは日本語で投稿されたものです

### 大東先生

2016.09.30

我的日语老师大東先生今天搬家去东京了，在学校辞职了，她在学校一直负责留学生的的工作，我的学长们都是她带的。今天上完了她最后一节课...虽然只有三周，她却帮了我好



多好多。我感到很遗憾，很伤心。这是我们上课的小教室...只属于我的教室。

### 外国人による日本語弁論大会

2016.12.20

十二月のはじめ、私は札幌市で外国人による日本語弁論大会に参加して、スピーチをあげました。参加者全員十一人だったけれども、やっぱりほとんどは中国人だった。中国人六人と台湾人三人を含め、残りはアメリカとイタリアから来た人だった。みんなは大学生だから、日本語が凄くうまいのは驚くには当たらない。その時、私は「誰でも幸せになれる」という文を発表しました、その文書はわたし自分の経験を踏まえて書き出して、先生に直してもらったのです。結果はおろかそれは全集中力でやったことで、または



やるにたえることです。

これは日本語で投稿されたものです

## 「雪国」

2016.12.20

川端康成の「雪国」は、新潟県の上越が舞台だ。しかし、雪国、という言葉は北海道にこそ、ふさわしいのではないだろうか。

「撒盐空中差可拟，未若柳絮因风起」。秋の終わりの初雪は、ひっそりとやってきた。初雪が降ったその日の放課後の帰り道、雪が舞う中歩いていると、地面に雪がみるみるうちに積もってゆく。初雪を眺めながらバスを待つ。待っているうちに、同級生たちの頭も白くなってゆく。

雪の中を歩いてゆくと、柔らかな雪がにぎやかだった秋をすっかり寝付かせたように静かだ。不意に立ち止まり見上げると、空にグレーの雲がうっすらとかかり、ひんやりとした光のなかをゆっくりと雪が舞いおりてくる。広大な風景の中に今、自分がいるんだと改めて思う。口を開けて見上げたら、雪が口の中に入ってくるのだろう。そしてそれはきっと格別な雪の味がするんだろうな。雪の向こうに遠く紅葉した山を望み、緑地も洗われたような鮮やかな色をはなっている。まぶしくて、まるでおとぎ話の世界のようだ。

こんな雪が降ったり止んだりの天気は何週間も続いた。秋の北海道は彼女の優しい顔だというのであれば、冬に突入した『雪国』はヤツの威力を思い知らせてくる。ある朝、目覚めると、空はどんよりとし、ふと窓の外に目を向けると、夜のうちに厚く降り積もった雪が目飛び込んでくる。屋根も雪にすっかり覆われ、雪に反射する日の光がまぶしい。朝食後、家を出ると道が完全に凍結しているので、恐る恐る気をつけながら学校に向かった。

授業はいつもと変わりなくすすみ午後になると、とあるクラスメートの「そとやばくない」の一言で、皆が一斉に窓の外に目を向けた。降りしきる雪に吹きすさぶ風。まさに土石流並みの大雪だ。

この時から、自分が住むこの場所に暴風雪がひっきりなしに訪れるようになった。沈陽出身の自分ですら、北海道の冬には震えあがらされた。大雪が一日中続くと、運動部の活動は全て屋内になり、自転車通学も安全面を考慮して禁止になる。雪が腰の高さまでに降り積もらなくても、足を下ろす場所は厚い氷が降り積もった雪の上だけ。しかもしょっちゅう、凍るような冷たい風が顔に吹き付けてくる。あるときは雪がおさまったとおもっても、突風とともにまた牙を剥き、顔面に吹き付けてくる。あまりに風が、目もまともに開けられないぐらいだ。

こんな体験をすると2007年の沈陽での大雪のことを思い出さずにはいられない。道路交通が麻痺するほどの雪で、生涯忘れられない経験だった。でも近年では沈陽の雪も激減している。北海道があのとときの大雪の衝撃を思い出させてくれた。「雪国」の冬はまだまだ続いている。白雪に真っ白にそめあげられ、この真っ白い世界で雪の脅威を感じている。

ああああ

### 中間研修一

2017.02.05

カウントダウンの中で、すでに五ヶ月が経ちました。期待している毎日を過ぎて、秋も冬に変わりました。

まるで夢のような日々で久しぶりの皆さんと会って、それぞれ自信が溢れていた顔は半年間の留学で収穫した成長が映しました。大阪での五日間、朝から夜まで忙しい毎日を伴って楽しい思い出を一生でも忘れず。

なぜ幸せの光陰はいつも間もなく流れていきますか？どうすればこんな短い日々を引き止められるんでしょう？一つのバスに乗った後、三十一の世界を戻りました。自分が強いかと思ったのに、やはり涙はひっそり出ってしまったて見送りの目を濡れました。別に何でもなくてただの別れですが、恐れることはまた逢える時は夢しかない。

心連心の皆さんは中国から選ばれた最高の少年たちで、縁のおかげで集まって同じ夢を追いかけてます。留学後半の半年間ちゃんと毎日を楽しんで過ごしてください。若いうちにやりたい事をやりに行きましょう。これから複雑な人にならないように素直に謙虚に爽やかに汗と涙を合わせて輝い未来に向かおう！

これは日本語で投稿されたものです